

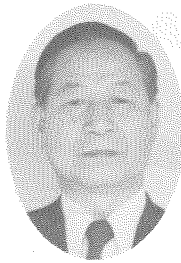


Title	万博十年
Author(s)	今枝, 信雄
Citation	makoto. 1980, 30, p. 2-3
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86106
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



万博十年

財団法人地方行政総合研究センター

理事長 今 枝 信 雄
(元万国博協会事務次長)

十八億円の衛生対策費

衛生対策費一、七六八百万円、その内訳は、医療救護費一四六百万円、防虫防疫費五百万円、清掃費一、五六四百万円、騒音測定費七九万円。

日本万国博覧会の管理運営経費のなかで、衛生対策費が十八億円であったというのは、多すぎたのか、少なすぎたのか、適

正だったのか。

万博から十年経過したこの時期に、もう一度振り返ってみることは、当時の関係者にとって単なる思い出にとどまるのではなく、学問的にも、実務的にも興味深い問題だと思っています。

未来都市のコア(核)

万博会場の基本設計に当たった専門家グループは、会場は「未

来都市のコア(核)」といえる体

裁と機能を持つことになると思

そのことに反対を唱えるつもりはありませんが、一步裏通りへ入ればネズミが横行する大都市の盛り場並みになりかねないし、会場周辺の保存緑地や雑木

林から、会場の照明に誘い出される多種多様な昆虫——そのな

かには毒蛾や日本脳炎を媒介するコガタアカイエカのようなやつかいなもので混っています。毒蛾が飛びかうアスファルト。ジャングルになってしまつては、まったく絵にもなりません。

伝染病や集団食中毒

外国からたくさんの方が観客として、また展示館や食堂、売店の従業員としてやって来てこそ万博らしくなります。しかし、それにつれてコレラや痘そうといった伝染病が来ないという保証はありません。

また、会場内には食堂、喫茶店、アイスクリーム・スタンドなど食品関係の施設が八〇四も

あり、高温多湿の気象条件を考えると、集団食中毒の発生は避けられそうにもありません。清掃面積三二二平方キロ

会期中に清掃した延面積は約三二二平方キロメートルです。

これは大阪市全域と吹田、豊中、箕面の各市域の合計面積約三二二五平方キロメートルに匹敵します。ここで発生するゴミをどのようにに収集し、処分するのか。不燃物や残灰の処分地をどのようにして採し出すのか。

会場がゴミだらけになってしまつては、「世紀の盛典」などといつてはおれないでしょう。誘蛾灯

会場の南北の境界線に沿って、南側に八五基、北側に六五基、計一五〇基の誘蛾灯が約三五メートル間隔で設置されました。

万博の総入場者数は六四二一八、七七〇人でした。この数字は万博の成功を誇るひとつの指標として引き合いに出されることが多いが、誘蛾灯が捕集した昆虫の総数が五〇、〇七一、五八二匹という数字を口にする人はほとんどありません。

害虫による被害の苦情が聞かれなかったのは、常時の監視と定期的な駆除作業が行われたほ

かに、この誘蛾灯も威力を発揮したといつてよいでしょう。

伝染病患者六人

四月二六日、健康保菌者、四一歳、男、ドイツ人従業員、赤痢ソルネ菌

七月二四日、疑似赤痢、二二歳、女、日本人観客、検査結果陰性（大腸カタール）

右二件は会場内で発生。ほかに会場外で腸チフス、マラリヤ各一件、疑似赤痢（腸炎）二件

食中毒三九件三九九人

食中毒は当初数千人に及ぶ患者の発生が予想されていたが、

会場内の食品営業施設が原因で発生したのが二件、会場外の施設が原因のものが三七件、患者数はそれぞれ五四人、三四五人でした。会場外の原因によるもの三七件のうち、家庭の台所で用意された「おにぎり弁当」などが原因だったのが二四件、八五人というのが意外でした。

ほとんどが病原性ブドウ球菌によるものでした。おかあさん、しっかりしてください。

ゴミ一日一〇八トン

ゴミの排出量は一人当たり四〇〇グラム、総量二一、五〇〇ト

ンの予測に対し、一人当たり三〇八グラム、総量一九、七八〇トンにとどまりました。

総入場者が予測に対して二八%も増加したのにゴミの総量が予測よりも少なかったのは、食堂、売店での料理や食品の供給量には限界があったこと、入場者数の増加に伴い、会場内の快適さが次第に低下し、観客の場内滞留時間が短くなったことが原因といえましょう。

裏方が立派

衛生対策はまったくの裏方の仕事です。医療救護、環境衛生、

食品衛生、清掃、騒音規制、そのどれひとつをとってみても、万博の成功に大きく貢献しています。

関係の官公庁、ボランティアの医師団、薬剤士団、関係の業者など衛生対策に関係した人びとの努力は驚くべきものでした。ところが、これらの人びとの立派さに人は気付かない。それが裏方の宿命だといってしまえばそれまでですが、万博十年を記念して、あらためて感謝の念を表明したいと思います。